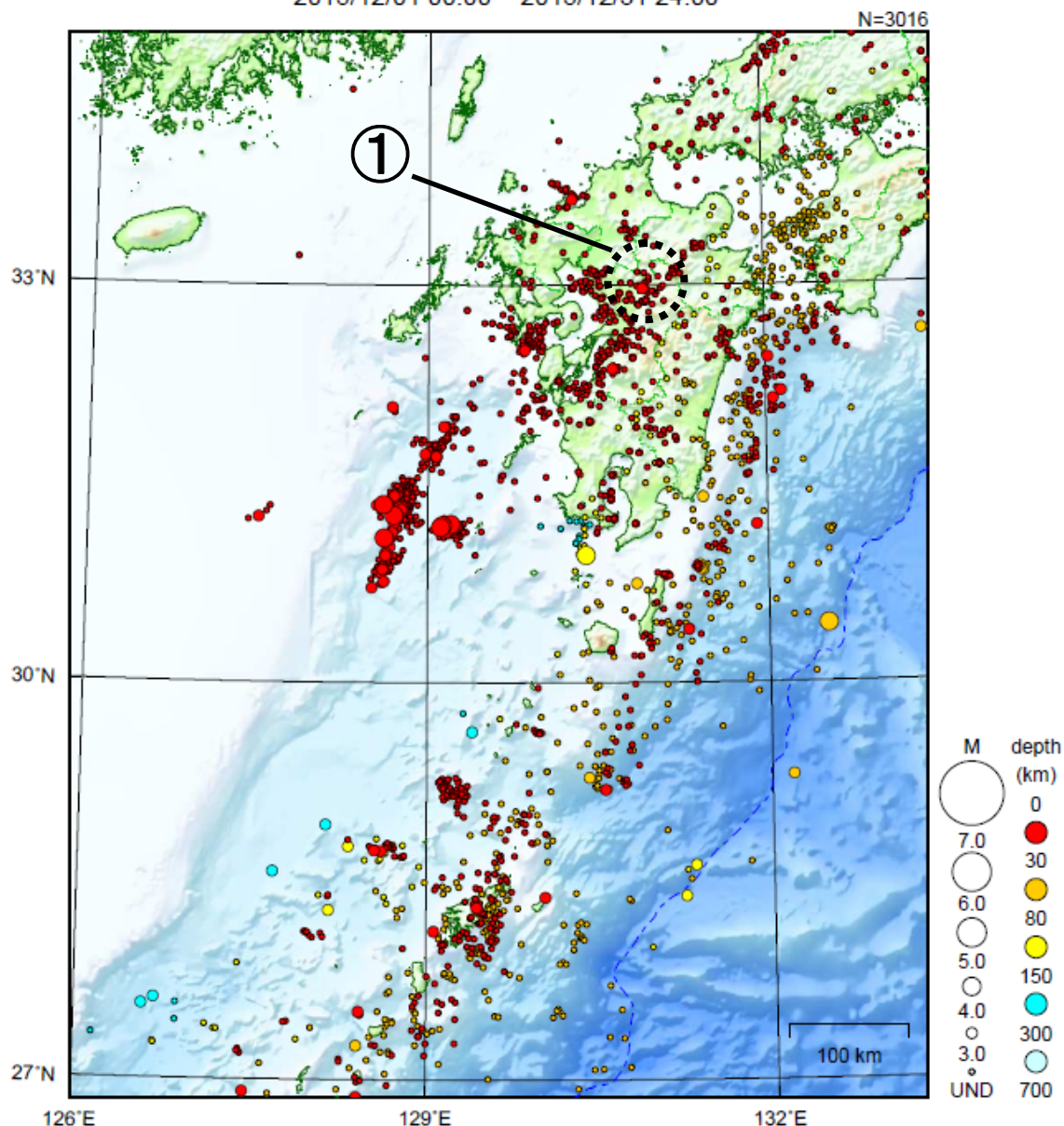


# 九州地方

2015/12/01 00:00 ~ 2015/12/31 24:00



地形データは日本海洋データセンターのJ-EGG500、米国地質調査所のGTOPO30、及び米国国立地球物理データセンターのETOP02v2を使用

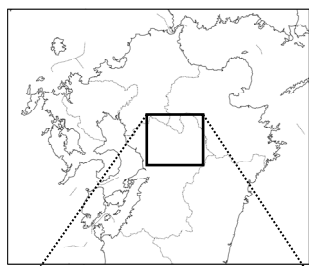
- ① 11月中旬から熊本県熊本地方で地震活動がやや活発となり、12月31日までに震度1以上を観測する地震が17回発生した。このうち最大規模の地震は、12月4日に発生したM3.2の地震（最大震度3）である。

(上記期間外)

1月9日に奄美大島近海でM5.4の地震（最大震度4）が発生した。

[上述の地震はM6.0以上または最大震度4以上、陸域でM4.5以上かつ最大震度3以上、海域でM5.0以上かつ最大震度3以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

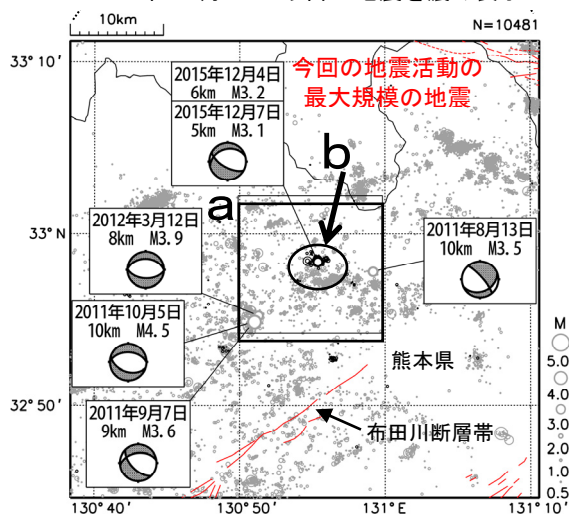
# 熊本県熊本地方の地震活動



震央分布図

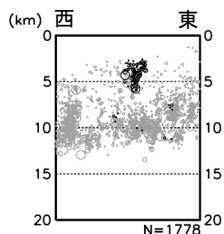
(2000年10月1日～2015年12月31日、深さ0～20km、 $M \geq 0.5$ )

2015年11月19日以降の地震を濃く表示



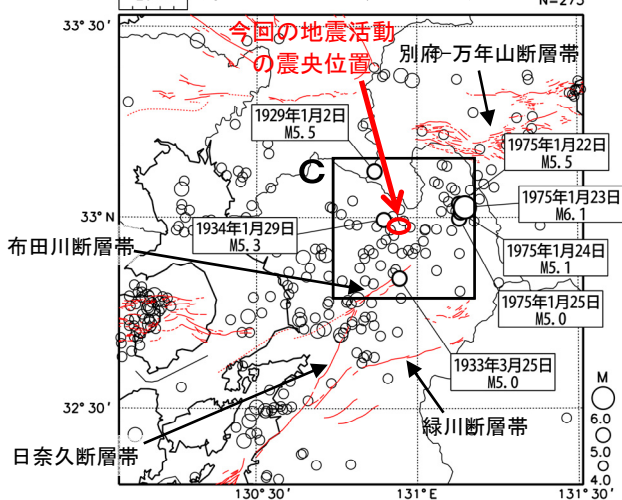
図中の細線は、地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。

領域 a 内の断面図 (東西投影)



震央分布図

(1923年1月1日～2015年12月31日、深さ0～40km、 $M \geq 4.0$ )



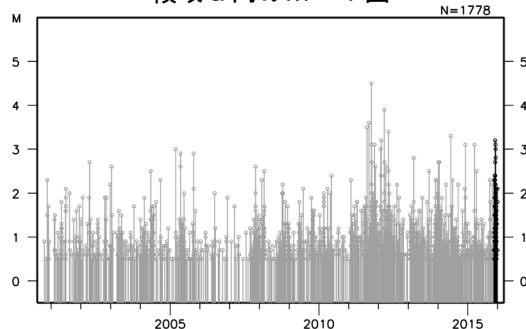
図中の細線は、地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。

11月中旬から熊本県熊本地方で地震活動がやや活発となり12月31日までに最大震度1以上を観測した地震が17回(最大震度3:2回、最大震度2:5回、最大震度1:10回)発生した。これらの地震活動は、地殻内で発生した。最大規模の地震は、12月4日05時40分に深さ6kmで発生したM3.2の地震(最大震度3)である。また、12月7日06時25分に深さ5kmでM3.1の地震(最大震度3)が発生した。この地震は、発震機構が北北東-南南西方向に張力軸をもつ正断層型である。

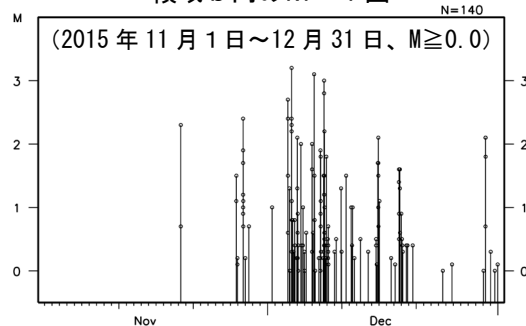
2000年10月以降の活動を見ると、今回の地震活動付近(領域a)では、M3.0以上の地震がしばしば発生している。2011年10月5日にはM4.5の地震(最大震度5強)が発生し、住家一部破損10棟の被害を生じた(熊本県による)。

1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震活動周辺(領域c)では、M5.0以上の地震が7回発生している。今回の地震活動の東側20km付近では、1975年1月から2月にかけて地震活動が活発となり、1975年1月23日にM6.1の地震(最大震度5)が発生し、負傷者10人、建物全壊16棟、建物半壊17棟などの被害を生じた(熊本県による)。

領域 a 内のM-T図



領域 b 内のM-T図



領域 c 内のM-T図

